

【第4回哲学プラクティス連絡会】2018年8月25日(土)立教大学池袋キャンパス プログラム

	5301教室	5302教室	5303教室	5304教室
9:00	受付開始			
9:30-10:20【プレゼンテーション】	都市におけるアンダーグラウンド的憂鬱について／高崎友太郎(神奈川県立深沢高校3年生)	テツドク！～哲学書を読むという「愉しみ」に集うひとびと／廣井泉(カフェフィロ)	学校において哲学対話が可能となる条件を考えるー教師の権力性をめぐる議論に着目してー／岩瀬優(東京大学大学院)	
10:30-12:00【ワークショップ】	「スパイダー討論」が対話の場を変える～紙と鉛筆だけで熱中する対話がスタート！～／かえつ有明中・高等学校「知のコードプロジェクト」(定員40名)見学歓迎	哲学対話とジャーナリズムの関係～相模原事件を通して、両者の思考と話法の相違点や学びについて対話する／選別を考える会(定員15名)	「夢」はあなたが創り出した潜在意識による芸術作品です。「夢」をワークし、テーマを切り出します。／ぬくきた茶話会(図書館貫井北分室)(定員20名)30名見学可能	公開！哲学相談室 ～悩みについて哲学するとどうなる？～／神戸和佳子(定員20名)見学なし
12:10-13:00【全体総会】	【5322教室】これからの哲学プラクティス連絡会について／機関誌『みんなで考えよう』発刊のお知らせ など(司会:永井玲衣)			
13:00-14:00【昼休み】				
14:00-15:00【ブース発表】	下記参照			
15:00-16:30【ワークショップ】	若手実践者、図書館司書と考える 哲学対話と絵本／盛岡千帆・木下真希・栗山えりか(定員20名)	ひとはいつ、どこで哲学をはじめのか～「哲学ツーリズム」の射程を考える～／哲学ツーリズムを考える会(定員30名)	地球最後の日、宇宙船パイディア号の冒険／高千穂大学哲学研究会パイディア(定員15名)見学歓迎	こんなとき、どうする？～哲学対話のうまいかなさを考える～／永井玲衣(上智大学大学院)(定員なし)
16:40-17:40【プレゼン発表】	ソクラテック・ダイアローグ 2018.03/Spring 参加報告 ー比較、およびSDの副産物についてー／草間さゆり	公立中学校における特別学習での哲学プラクティス実践報告／馬場智一	なぜアートと哲学するの？～美術館での実践から～／神戸和佳子	小学生のわたしが考える「うそ」～哲学対話をとおして見えたこと、その研究発表～／2人きりの哲学研究室(永井里花菜(江戸川区子ども未来館の指導員)阿部弥衣子(小学校6年生))
17:45-18:00【おわりに】	【5322教室】			

	5305教室	5306教室	5307教室
【ブース発表】	人生カフェ(中高年の人生を考える哲学カフェ)活動紹介／人生カフェ(中高年の人生を考える哲学カフェ)	さろん活動紹介／さろん(楠本航)	カフェフィロの活動紹介／カフェフィロ
基本終日	哲学徒はいかにして働いていけば良いのか？／腰原溪介	使ってみよう！「まいにち哲学カレンダー」／学事出版株式会社	哲学カフェ@神保町について／哲学カフェ@神保町
※14:00-15:00はブース展示のみ発表	ひろしま哲学カフェの2018年の活動紹介／ソクラテック・ダイアローグ 参加報告／草間さゆり	p4c語ろう会／zoomにて中継	「なんでも屋」のごーどさん／神戸和佳子
	これからの哲学プラクティス連絡会ご意見箱／永井玲衣(哲学プラクティス連絡会事務局)	Small Talk Project Vol.1「アートと対話」一観る・聞く・伝えるー／Small Talk Project	対話の経験と考え方を日常に活かすー発表者の会社での事例から考える／楠恵輔